

議会傍聴 しませんか？



次回の定例会は3月です。
議会の雰囲気を感じ、
一緒に考えてみませんか？

【令和7年第1回定例会日程（予定）】

3月	6日(木)	招 集 日
	10日(月)	一 般 質 問
	11日(火)	一 般 質 問
	17日(月)	最 終 日

第1回定例会は令和6年度の予算についての審議が予定されています。
(予算特別委員会 3月14日)

※日程は変更になる場合があります。

一 般 質 問

これでいいの？

町 政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。

一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では10人が登壇しました。

掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。

一般質問の映像を配信しております。各議員の見出しの下にあるQRコードから質問の映像をご覧ください。

また、会議録もホームページをご覧ください。

会議録



その他の質問 園町道橋梁の修繕計画について



車両のすれ違いができなく、早期の改修が望まれる勝大線の蛭川橋

問 厚生病院の院外処方方は町民にとって望ましい姿なのか。病院・町等での運営協議会において、今年度は、院外処方検討事項であり、実施の予定ではなかった。町では院外処方のメリット・デメリットを検討するなど、町民アンケート等実施しなかったのか、私の調査では約65%がワンストップサービスの院外処方を望んでいる。協働の町づくりにも真摯に取り組んでいない。

答 医薬分業の処方形態は医療機能の関の方針であり、病院機能の維持と存続のために必要な判断であったと認識しております。院外処方への変更は利点を持つ一方、課題も存在します。院外処方にする時間的な負担を軽減できます。



いがらし かずお 議員
五十嵐 一夫

検討はされたのか
厚生病院の院外処方に対し、町の対応は
一企業の方針であります



問 賑わい貢献団体への支援と期待
意見交換をし、支援につなげます

答 町の賑わいに貢献している団体への支援は。「東松峠を護る会」など13団体あると把握しております。事務局を担う事による運営支援や、活動に対する補助金の交付、維持管理作業等の委託を行い、今後すべての団体と意見交換を実施し、活動状況を把握し、課題等を聞き必要な支援につなげていきます。

問 「小竹会」がこれからのよう
に活動していくのが望ましい
のか、町の賑わいにどう貢献できる
のか。

答 中野竹子女史の顕彰追悼を目的に発足しましたが、令和4年2月に解散しました。観光物産協会が追悼事業を引き継ぎ毎年9月10日に墓前祭を実施しております。現在まで歴史と文化を護り繋いでくださった方の思いを忘れることなく支援をして、賑わいの創出を図っていきます。



たかく 高久 としあき 敏明 議員

将来が不安

映像はこちらから↓

町の財政状況と今後の見通しは

健全化は図られていますますが、今後
もさらなる取り組みが必要です



問

町の財政状況について、今後
の人口減少、老朽施設の修繕、
維持管理費の増大、そして現在進め
ている新庁舎建設による財政負担増
など将来への不安要素がある中どう
運営していくのか。現状と今後の見
通しについて伺う。

答

町の財政は、財政健全化アク
ションプランにより、着実に
健全化は図られていると実感してお
ります。しかし歳入では人口減少に
伴い、町税や地方交付税の減少が見
込まれております。

また、歳出では社会情勢による扶
助費、物件費の増のほか、庁舎建設
費による公債費の増が見込まれてお
ります。持続可能な財政運営を維持
するためにも、さらなる財政健全化
の取り組みが必要であります。



新庁舎建設による、財政シミュレーション上の影響は

さらなる基金の積立、事業費
の縮減に取り組む必要がある
と考えます

問

新庁舎建設の計画が、財政シ
ミュレーション上、将来の財
務状況にどの程度影響を与えると思
えているのか。

答

新庁舎建設については、令和
6年度の当初予算編成時では、
総事業費約40億円と見込み、財政シ
ミュレーションを作成しております。
シミュレーションでは事業費に対し
起債・行政センター建設整備基金を
充当しても約4億円の不足が生じる
ため、公共施設整備基金の繰入や一
般財源での対応となり、行政サービ
スへの影響が懸念されます。
さらなる基金の積立を行うことも
に、事業費の縮減に取り組まなけれ
ばならないと考えております。



よこやま ちよ 横山 智代 議員

町民と共に取り組もう

映像はこちらから↓

ごみ減量化の重要性の啓発を

出前講座や町広報紙、ホーム
ページ等を活用してまいります



問

ごみ減量化とプラスチック汚
染による人体への影響等の問
題の重要性を町民と共有し、協働で
取り組むべきではないか。

答

ごみ減量化は町民及び事業者、
行政が目標や課題を共有しな
がら、関心を持って行動することで
減量につながり、大きな成果が生ま
れると考えます。出前講座や町広報
紙、ホームページ等を幅広く活用し
て分かりやすく丁寧に説明し、町民
との協働により取り組んでまいりま
す。

プラスチック汚染問題については、
プラごみ分別の徹底や、周知・啓発
活動を進め、ごみ全体の減量化とリ
サイクルを推進し循環型社会の形成
を図ってまいります。



資源物回収の様子

包括的性教育を求める

現在の教育活動を進めながら、その
充実を図ることが大切だと考えます

問

「包括的性教育」を求める声
が国で増えているが、どのよ
うに考えるのか。また、実施につい
ての考えはあるのか。

答

社会の大きな変化が背景にあ
ると考えます。インターネット
の普及により性に関する情報の入
手が容易になった反面、その中には
正しい情報だけでなく、偏見を助
長する情報も混在しており、子ども
達が正しい知識を得るのが難しいこ
とがあります。

学校では、子ども達の発達段階に
応じた性教育が保健体育や理科など
において行われております。現在の
教育活動を進めながら、その充実を
図っていくことが大切だと考えてお
ります。

これも質問

固学校のトイレに生理用品の配備を
固新型コロナ感染対策について
固ごみ袋(可燃)の質改善を検討



山口 山 議員

町長の想いは…二期目の考えは

決断し、3月に表明いたします

映像はこちらから↓



問 庁舎位置を争点とすべきではないか。

答 正式に出馬を表明したわけではないので、今争点について申し上げるのは差し控えます。

問 秋まつりは、諏訪神社の例大祭である。町民と神社が乖離しているのではないか。

答 近年、「例大祭」については、町民の関心が薄れてきているように見受けられます。

例大祭における神事の持つ意味や歴史的な背景、紡がれてきた伝統等を、町民が正しく理解し、作物の収穫を町全体で祝う「坂下秋まつり」にしていきたいと考えております。



い が ら し ま ざ や す 五十嵐正康 議員

我が町の強み

発酵・肉食文化を観光に生かす観光コンテンツとして確立し、地域活性化を図ります

映像はこちらから↓



問 町の肉食文化を100年フードへ。馬刺しやソースカツも含めた肉食文化そのものを観光コンテンツとして確立を。

答 文化庁では、日本の多様な食文化の継承と振興を図るために地域で受け継がれてきた食文化を「100年フード」として継承していく取組を推進しております。調査・研究を進め、肉食文化の「100年フード」認定に挑戦したいと考えております。

問 発酵食のブランド価値を創出し、観光コンテンツとして生かす取り組みを。

答 本町には、大変恵まれた発酵文化があり、それぞれに多くのファンがついており、町の重要な観光資源の一つであると認識しております。また食べるだけでなく、酒蔵見学などは、大変好評を得ておりますが、観光施設としての体験活動等は、人手不足等の理由により対応が困難な状況であります。

このような課題に対応していくた

読書教育を推進し、子育て環境の充実を

本に親しむことのできる環境づくりに取り組んでいきます

問 幼少期からの小中学の全ての児童生徒に行き渡る読書環境を提供できる施策を。

答 幼い頃から、絵本等に親しむことは、豊かな心を育て、親子の愛着の形成にも重要だと考えております。

各小中学校では、朝の読書活動を継続的に実施し、読書習慣の定着を図ると共に、中央公民館の司書や図書ボランティアの協力を得て、魅力的な図書室作りを行い、保育所、幼稚園でも、本に触れる機会を広げるために、中央公民館図書室に向いての本の貸し出し体験を積極的に行っております。



いがらしたかこ 五十嵐孝子 議員

財政状況を考えて身の丈にあった庁舎を事業費の圧縮や有利な起債の活用に努めます

映像はこちらから↓



問 当町の財政と、今の社会や経済の状況からみて事業費は妥当か。

答 近年庁舎を建設した市町村の例として、三春町が約18億円、埴町が約21.6億円、会津美里町が約37.1億円です。これに対して本町の事業費は概算40億円程度としております。

建設資材や労務単価が急激に高騰している現状にあり、本町の財政状況を鑑みると、さらなる事業費の圧縮や、有利な起債を活用し、一般財源の圧縮に努める必要があると考えております。

問 あらかじめ事業費予算の上限は決めているか。

答 特に定めておりません。資材価格の高騰や、労務単価の上



昇が毎年のように生じているため、新庁舎建設事業費も年々上昇が見込まれております。

問 住民への情報開示(判断材料)を適切に行いながら進めてきたか。

答 「新庁舎建設だより」で事業の進捗状況やアンケート結果の周知をしております。町民懇談会では候補地ごとの概算の事業コストなどの比較検討資料を提示しております。町のホームページには、新庁舎建設検討委員会の会議録も掲載しております。

問 推定人口何人を想定した庁舎規模か。

答 現在の職員数と、必要と思われる付属面積の積み上げで計算しております。長期的には、人口減少に伴う職員数の減少、DXの推進により行政サービスのあり方が大きく変わることも想定されており、それらも考慮しながら、より適正な規模を検討してまいります。



おばたひろし 小畑博司 議員

活気あふれるまちへ農業の振興をどう進めるのか

映像はこちらから↓



問 食糧生産は国の政策の柱である。しかし、主食であるコメを生産さえ、近い将来に大きな不安を抱えている。今、私たちができることは何か。農業の一層の振興はまちづくりの要である。活気あふれるまちへ、未来を切り開く政策の柱になるものと信じている。町長としての決意と、具体的な振興策は何か、伺う。

答 急激な気候変動や原材料価格などの高騰は農家の生産意欲を低下させ、経営継続への不安感につながっております。また、地域の魅力の低下や地域経済の衰退に直結する大きな課題です。

これらの課題を解決するために3つの視点をもって取り組みます。

1つ目は圃場の大区画化とパイプラインの整備です。受益者負担の無い方法で実施できるよう、関係機関に積極的に働きかけます。

2つ目は担い手の育成と確保です。現在、農地を守り、コミュニティを維持し、持続可能な農業の経営を目指し、地域計画を策定中です。規模

の大小にかかわらず、目指したい農業経営の方向に寄り添いながら最大限の支援をしてまいります。

3つ目は、次代を担う若手農業者が中心となって創り上げる「会津坂下スタイル」の農業です。熱い思いと斬新なアイデア、行動力を持つ「次世代農業者会」と町職員が一体となって農業の現状と課題を共有し、目指すべき方向、具体的な取り組みについて議論を重ねております。

これらの取り組みの成果を、「認定農業者会」「農業委員会」などの関係機関と共有しながら、町独自の農業施策として発信し、魅力的な農業の確立につなげてまいります。そして、農業が「将来になりたい職業」の第一位となるよう子供たちにも機会を作ってまいります。





めぐる かつひろ
目黒 克博 議員

聞き取りが困難
**防災行政無線の見直しを
 より確実な情報伝達の環境を整
 備します**

映像はこちらから↓

問 屋内型の受信機の配置が必要ではないか。

答 非常時における情報伝達を確保するために、無線通信システムを整備してありますが、気象環境・近年の住宅構造の進化により、屋外スピーカーの対応に課題が生じております。今後はそれらの解決策として市販のラジオで受信可能な「FM方式」の導入を進めております。また防災アプリ・エリアメール等の複数の情報伝達の環境を整備してまいります。

問 美術館活用と今後の企画は。

答 条例の目的を達成する為、美術記念運営委員会のご意見を求めながら、名誉市民の小林五浪画伯を中心に魅力ある企画に向け、郷土芸術家の発掘、美術サークル等の様々な展示会など、多くの市民の芸術作品などの触れ合いを通し、町芸術活動の復興を図ります。

問 小規模医療機関の医業承継の懸念への対応は。

答 地域医療の維持に関する重要課題に、町としては国・県の対策の動向を踏まえながら、限られた医療資源を有効活用するため、適切な受療行動の促進と健康寿命の延伸を目標に向けた、町民の健康維持・増進を図る取組みをしてまいります。



五浪美術記念館でのバンビ展



さとう そつた
佐藤 宗太 議員

町の発展のために
**産業振興にどう取り組むのか
 新たなチャレンジを積極的に
 支援します**

映像はこちらから↓

問 農業の現状をどのように分析しているのか。

答 燃油や肥料の高騰、気候変動による品質低下などが将来にわたる農業経営継続の不安や意欲低下を招いております。

問 農業の未来をどのように描いているのか。

答 地域計画に中小規模農家を集落農業の重要な担い手に位置づけてまいります。水稻を主体とした安定的・効率的な農業経営の実現を目指し、「適地適作」「収益性や付加価値の向上」「生産コストの縮減」「新たな市場・需要の開拓」の4つの柱を掲げ、米作りと高収益作物、土地利用型作物を組み合わせた水田フル活用による農業の収益向上を推進してまいります。

問 基金が20億を超えるまで財政が改善しているが、基金運用の考えは。

答 令和5年に策定しました会津坂下町基金運用方針に基づき、安全性を優先とした上で、効率のよ

い運用を町基金運用会議で決定してまいります。

**出生数減少に伴い教育施設の在り方を検討すべきでは
 しばらくは今の状態を維持します**

問 教育施設適正配置について検討すべきではないか。

答 様々な事柄を総合的に考慮する必要がありますが、町の公共施設の配置、町づくりの方向性も見据えての検討がなされます。現在のクラス数を踏まえると、しばらくの間は、現状教育施設を維持していく考えであります。

問 保育施設のあり方を検討すべきではないか。

答 町内には、ばんげ保育所以外にも民間の認可保育施設が3つあります。出生数の減少により、ばんげ保育所の現在の運営体制や規模をこのまま維持することは、必ずしも最適ではなく、運営に関する指針となるものも必要と考えております。



さかい いくこ 議員
酒井 育子

持続可能なまちづくり

映像はこちらから↓

当町の財政健全化の現状は

取り組みの成果として改善が
みられています



問

財政再建における、基金・公
共施設の統廃合管理計画など
について、どのような対策を講じな
がら進められているのか。

答

令和元年度に財政健全化アク
ションプランを策定し、令和
6年度までを重点期間として財政
健全化に取り組みました。その成果
として、目標としていた単年度収支
の黒字化、財政調整基金の確保、実
質公債費比率の改善が図られており
ます。



公共施設は、新規施設の整備は最
小限に抑制しながら、個々の施設の
利用状況や耐用年数、地域特性など
を総合的に勘案しながら、施設機能
の更新・複合化・集約化を図り、持
続可能なまちづくり
率の施設運
営、財政運営
を目指してま
いります。

「将来の会津坂下町」をどのよ
うに考えていくのか

町民の声を反映し、協働によ
るまちづくりを進めていくこ
とが必要であると考えており
ます。

問

「10年後20年後の会津坂下町
を考える会」の運営はどの様
に進め、生かされているのか。

答

様々な年代や、多種多様な分
野の方々のご意見等をお聞き
しながら、町の目指すべき姿を共に
考えていく仕組みとして組織しまし
た。20の部会でご意見等をいただき、
まとめたものが第六次会津坂下町振
興計画後期基本計画です。

独自で活動をしている「市街地活
性化部会」では「自分たちができるこ
とから始めてみよう」をモットーに
取組を実施しております。

「都市マスタープラン」や「中心市
街地活性化計画」等の策定において
も、会の仕組みを機能させ「将来の
会津坂下町」のブランドデザインを
描いていきたいと考えております。

特別委員会だより

新庁舎建設検討特別委員会

10月30日 7回目の新庁舎建設検討
特別委員会を開催いたしました。

庁舎整備課より、比較検討資料をもと
に建設候補地について説明を受けました。

議員間討議では、新庁舎建設における
議会機能について、議場フロア関係諸室、
図書室、更には、正副議長室、議員控室
等について議論を重ね、来年3月までに
提言してまいります。



議会改革特別委員会

10月30日に議長から議会改革特別委
員会に諮問がなされました。

諮問内容は、次のとおりです。

- 1 議会モニター・政策サポーターに係
る規定および要綱の策定
- 2 議会のオンライン化・ペーパーレス
化に係る規定および要綱の策定
- 3 正副議長選において指名推選の方法
を可能とすることについての可否の
検討、および、その他正副議長選挙
の透明化にかかる事項の検討

諮問1と3は令和7年第1回定例会ま
での答申期限となっています。

議会に町民のみなさんの意見を取り入
れる仕組みについて、また、透明化につ
いて、調査研究をしてまいります。